

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育方法論 The Theory of Teaching Method		2年	前期	金曜日・1時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		必修（教職課程必修（栄養士養成課程・栄養教諭））	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
教育原理等の教職科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教育原理等の教職科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
藤原保利		本館2階	火から金曜日の9時から16時（授業時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
21世紀の教育目標と教育の方法、これからの学びのプラン・ドゥ・シー・アクション、これからの学びを支える共生のシステム、そしてこれからの学びを支える教師・指導者という4つの題材を手掛かりにして、今日危機的状況の中で問われている教育方法について考究し、子どもが生きる学びの具体的なシステムづくり、更にはその学びを支える新しいネットワークづくりへの基本的な考え方を詳述する。				
授業の到達目標				
○学びの演出方法としての教育方法という認識に立って、最適な学びを演出する教育方法と、教師の仕事と役割、そしてそのための課題とは何かについて正しく認識することができるようにする。○これまでの学びのシステムを客観的にとらえて、これからの学びをどのように構築すべきであるか、その方向性を考究することができるようにする。○併せて、これからの教師・指導者に求められる姿を、ジェンダー、「女性」の立場から捉える視点をもつことができるようにする。				
授業の方法				
基本的には板書を中心とした講義形式で行う。単元終了時に小テストを行う。レポートの提出を求める。「調べる・考える学習」を重視した授業の展開を図る。				
学習の成果				
○最適な学びを演出する教育方法、最適な学びを演出する教師の仕事と役割、これからの学びを演出する教育方法の課題について説明することができる。○その認識を活用してこれからの学びを支える共生のシステム構築への道筋を定めることができる。○これからの学びを支える教師・指導者に求められる、資質、態度、価値観を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業の概要と進め方について説明 レポートのテーマと提出期限等について説明			
第2回目	学びの演出法としての教育方法 最適な学びを演出する教師の仕事と役割 これからの学びを演出する教育方法の課題			
第3回目	教師の指導性 教科の学習と総合的学習 応答関係の中で育つ学習主体			
第4回目	学びにおける計画・構想とは 自主・共同探究過程としての授業・学びの新たな創出 <小テスト>			
第5回目	授業における「競争原理」と「正答主義」の癒着 授業実践における「展開」の提起 授業展開の「タクト」をとる			
第6回目	学びを反省・評価する 学びの反省・評価における特質 自己評価の本質			

第7回目	子どもが生きる学びの具体的なシステムづくり　学習主体育成のねらいと意義　学習主体を育てる場と関係性		
第8回目	学習主体を育てる授業システムづくり　学習主体を支える学級システムづくり　〈小テスト〉		
第9回目	これからの学びを支える新しいネットワークづくり　情報化社会と社会的・共同的学びの構築を求めて		
第10回目	新しい学びの必要性　子どもを取り巻く4つの世界と2つの歴史　学校知と日常知　情報化社会と新しい学び　〈小テスト〉		
第11回目	これからの学びを支える教師・指導者　ユネスコ勧告に見る教師の役割と力量		
第12回目	教育職員会議が21世紀の教師に求めた資質能力		
第13回目	これまでの教師・指導者とこれからの教師・指導者　ジェンダー、「女性」の立場から教師を見つめる向き合う舞台としての教室		
第14回目	現代の教育方法に求められる視点　子どもの学習参加と新しい教育方法　異質・共同の世界を創造する新しい教師への期待		
第15回目	まとめと試験		
成績評価の方法と基準			
評価の領域	割合	評価の基準	
授業参加態度	10%	以下の事柄で評価する。授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場面で自分意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問する等々。(詳細はガイダンス時に説明する。)	
レポート	20%	詳細に課題を探求し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細はガイダンス時に説明する)	
調査報告書			
小テスト	20%	単元終了時に小テストを4回実施する。授業や教科書に書かれている内容が十分に理解されている。(詳細はガイダンス時に説明する)	
中間・学期末試験	50%	論述式である。設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超え、自分の考え方も示されている。(詳細はガイダンス時に説明する)	
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
教科書：使用せず　参考図書：「教育原理」教師養成研究会　学芸図書　「教育の方法」山下正俊他編著　ミネルバ書房			
履修上の心得・ルール			
課題意識をもって授業に臨むこと。遅刻厳禁。　飲み物等持ち込み禁止。			

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育方法論 The Theory of Teaching Method		2年	前期	水曜日・5時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択 (教職課程必修 (保育士養成課程・幼稚園教諭二種))		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
保育原理 保育者論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
幼稚園教諭免許状取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
藤原保利		本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要				
○保育の方法の原理、保育方法の基本、幼児理解と保育方法、保育の計画と実践・評価、相互作用としての援助、遊びと援助、そして保育の連続性と循環性等々を題材として幼児教育の方法、指導についての知識、技術の習得を図り、幼児の「生きる力」の基礎を育むための、教育方法の最適化を考える。				
授業の到達目標				
○幼児教育の方法、指導についての知識、技術の習得を図り、「生きる力」の基礎を育むことができるようにする。○幼児理解の原理と方法を習得し、教育方法の最適化を図ることができるようにする。○遊びを通した総合的指導の意味を理解し、適切な遊びの展開と援助ができるようにする。				
授業の方法				
基本的には板書を中心とした講義形式で行う。単元終了時に小テストを行う。レポートの提出を求める。「調べる・考える学習」を重視した授業の展開を図る。				
学習の成果				
○教育方法の最適化を図り、「生きる力」の基礎を育むことができる。○教育方法の原理、保育における指導と援助に関する基本的知識、技術を習得し活用することができる。○子どもにとっての遊びの意味・意義を理解し、ねらいの総合性、指導の総合性を踏まえて個及び集団に対する適切な環境を構成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業の概要と進め方について説明 レポートのテーマと提出期限等について説明			
第2回目	保育の方法の原理 保育の方法とは 保育における指導と援助			
第3回目	保育方法の基本 幼児とともに創る生活 共にあるということ			
第4回目	幼児期の発達と保育方法 発達観と保育方法 一人一人の発達に応じた援助 状況をとらえた指導<小テスト>			
第5回目	幼児理解と保育方法 子どもからのメッセージを聴き取る・感じとる 発達の共通性			
第6回目	一人一人の発達 発達の共通性 集団の特性			

第7回目	保育の計画と実践・評価 長期の計画・短期の計画 子どもの創り出す生活 〈小テスト〉			
第8回目	保育の記録、評価 記録・プロフィールやエピソード 保育と評価			
第9回目	遊びと援助 子どもの持つ総合性 保育の持つ総合性 子どもにとっての遊びの意義			
第10回目	遊びを生み出すということ 遊びの展開と援助 遊びと環境 〈小テスト〉			
第11回目	一人ひとりと集団への援助 一人ひとりが育つ 集団が育つ			
第12回目	一人ひとりと集団の関係 育ちあいのある生活 保育者の価値観を伝える 〈小テスト〉			
第13回目	子どもの生活の流れの中で 家庭・地域との連携 地域の中の幼児教育			
第14回目	保育者としての自分を育てる 保育者としての自分を問う 子どもが求める保育者 保育者の成長			
第15回目	まとめと試験			
成績評価の方法と基準				
評価の領域		割合	評価の基準	
授業参加態度		10%	以下の事柄で評価する。授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場で自分意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問する等々。（詳細はガイダンス時に説明する。）	
レポート		20%	詳細に課題を探求し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。（詳細はガイダンス時に説明する）	
調査報告書				
小テスト		20%	単元終了時に小テストを4回実施する。授業や教科書に書かれている内容が十分に理解されている。（詳細はガイダンス時に説明する）	
中間・学期末試験		50%	論述式である。設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超えて、自分の考え方が示されている。（詳細はガイダンス時に説明する）	
発表内容（態度含む）				
その他				
教科書と参考図書				
教科書：「保育原理」待井和江編 ミネルバ書房 参考図書：「保育方法論」高杉自子他編 光生館				
履修上の心得・ルール				
課題意識をもって授業に臨むこと。遅刻厳禁。 飲み物等持ち込み禁止。				